

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北陸)	◎	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・11月16日からGo To Eatキャンペーンのプレミアム付食事券の二次販売が始まり、1世帯1日最大5冊まで購入可能となったため、来客数や客単価に大きな変化がみられる。和食部門は例年の60%ほどの集客だが、洋食部門は例年を若干超える集客が続いている。
	◎	一般レストラン (統括)	来客数の動き	・当社店舗の来客数以外に消費者動向をみると、Go Toキャンペーンで県内外から観光で当地に訪れる人が例年より多い。これは新型コロナウイルス禍で外出を我慢していた消費者がGo Toキャンペーンにより一気に動いたこと、我慢からの解放が11～12月に起こったことが要因である。人が動くと新型コロナウイルスの感染者数が増加することになるが、12月は人々の外出したい欲求が勝った月であると考えられる。
	◎	タクシー運転手	来客数の動き	・今月はボーナスも出て、懐具合が良い。忘年会などで街中に出る機会が増えている。ただし、前年のような団体の忘年会は一切なく、12月としては近年になく売上が悪い。
	○	コンビニ(店 長)	それ以外	・全体の景気は悪いと考える。しかし、商品ジャンルによっては回復しているものがあり、3か月前の全てにおいて絶望的な状況からは回復しているようである。キャッシュレス決済等における電子マネーのプレミアム付により、客の購入意欲が回復してきている。まだたばこや酒といったし好品のみ売上が好転しているにすぎないが、今後他の商品にも派生して行ってほしい。以前は前年比で20%以上減少していた売上が、現在は前年比5%程度の減少にとどまっている。
	○	乗用車販売店 (役員)	販売量の動き	・車のモデルチェンジや新型車の発売が続いており、いわゆる新車効果により客の関心が高まっていることが要因か、やや良くなっている。
	○	一般レストラン (店長)	来客数の動き	・Go Toキャンペーンの恩恵で3か月前と比べて良くなってきたとみていたが、一時停止になり影響が出てきている。
	○	旅行代理店(支 店長)	販売量の動き	・Go To Travelキャンペーンにより個人旅行の動きが出てきている。
	□	商店街(代表 者)	お客様の様子	・入込客は増えているが、目的を持った買物なのか、じっくりと買物に時間を費やす人は少ない。気象予報では雪が多い冬ということで、冬物衣料に動きが出てきているが、雪が多く積もってしまうと一挙に需要が少なくなる。暮れから年初がどのような天候になるかも心配なところである。
	□	一般小売店〔精 肉〕(店長)	来客数の動き	・ギフトの動きが今一つ良くないため、その分が足を引っ張っている。
	□	一般小売店〔事 務用品〕(店 員)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染防止対策をした上で集客イベントを開催したが、来客数が少なく売上増加の要素が全くない。
	□	一般小売店〔書 籍〕(従業員)	来客数の動き	・来客数が全く伸びなくて困っている。
	□	百貨店(売場主 任)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者増加に伴って外出を自粛する傾向が強まり、来客数は減り続けている。10～11月は客単価の上昇で来客数の減少分を補い前年実績を超えたが、12月は客単価の上昇でカバーしきれず前年割れの見込みである。さらに、30日と31日の降雪で来客数が減っている。
	□	百貨店(販売促 進担当)	お客様の様子	・総菜やスイーツ、生鮮品が好調である。会うことのできない知人や子供へのギフトが冬も好調に推移している。外商部門では、法人がパーティー関連を取りやめた対応としてギフトが増えている。
	□	スーパー(店 長)	販売量の動き	・1回の来店での購入量が増えていることに加え、年末における購入も重なり客単価が大幅にアップしている。
	□	コンビニ(経営 者)	来客数の動き	・季節商材は低い水準のままである。

□	コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・一旦回復基調であったが、月初より新型コロナウイルス第3波の影響を受けている状況である。特に夜間の来客数が前年と比べて大幅に減少している。
□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響があり、例年と比べて帰省客が少ない。
□	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・毎日の新型コロナウイルスの報道に一喜一憂するような状態で、新型コロナウイルス流行前の売上までは、まだまだ程遠い。
□	家電量販店（店長）	販売量の動き	・購入単価は上がっているが、来客数が減少している。新型コロナウイルス禍によるものと考えている。
□	自動車備品販売店（役員）	お客様の様子	・ここ数年は暖冬だったが、今年は降雪の影響でスタッドレスタイヤを購入する客が多く、例年より早めにタイヤを交換する客も多い。タイヤ選びは価格ではなく性能を重視しているが、その他の冬用商品の購入には慎重で、おすすめの特価品についても衝動買いを抑える傾向がみられる。
□	その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で家飲みが増えたという割には、販売量は相変わらず良くない。正月に向けて高い酒が売れるかとみていたが、それほど売れていない状況である。
□	スナック（経営者）	来客数の動き	・例年12月は赤字の月をカバーしてくれるという期待があったが、今年は新型コロナウイルスが発生して以来ずっと黒字の月がなく、最後まで四苦八苦している。売上は前年同月の半分で、先が読めない。
□	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・Go To Travelキャンペーンで宿泊部門とレストラン部門は前年比の70%まで回復したが、引き続き夜の宴会利用は全くない。少人数のおせち料理は完売したが、例年であれば売れ筋の4～5人向けの販売が振るわず、帰省の状況を反映している。
□	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・ボーナスが皮切りとなる年末商戦での販売が思ったほど伸びていない。新型コロナウイルスによる自粛の影響もあると考えるが、新商品に対して例年より需要が少ない気がする。
□	通信会社（役員）	販売量の動き	・3か月前同様に好調である。通信、放送共に契約数が前年同月比と同レベルまで戻ってきている。
□	その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	来客数の動き	・市中にクラスターが発生し、慎重な動きになってきており、環境的に更に厳しくなっている。
□	住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・請負額及び変更工事による追加請負額が小さくなっている。
▲	百貨店（販売担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大に合わせ、地方にも影響が出てきている。県外への旅行などの需要が減り、旅行に行くための洋服やバッグなどの需要が大幅に減少している。また、年末年始も外出自粛を受け、アウターやニットなども全く振るわない状況である。クリスマスプレゼントも定番のニット、マフラー、手袋などの購入はほとんどなく、低価格の雑貨にシフトしている。しかも、実用品を選択する傾向である。
▲	スーパー（統括）	お客様の様子	・新型コロナウイルスに感染収束の兆しがないことによる消費の不透明感がある。
▲	コンビニ（営業）	来客数の動き	・Go Toキャンペーンが一旦休止となり、人の動きが悪くなっている。
▲	家電量販店（本部）	来客数の動き	・前年は超えているが、一昨年と比べると厳しい状況である。特に来客数は非常に厳しい。高付加価値商品の売上が好調で、単価はアップしている。空気清浄機や加湿器は好調である。
▲	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・サービス関係の来客数は通常どおりだが、乗用車購入目的の来客数が極端に少なくなっている。新型コロナウイルスの影響で、購入に対して様子見が増えていると考える。
▲	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・かなりの雪が降り気温も低くなったせい、タイヤ交換等での来店が少なくなり、来客数が減っている。

	▲	その他小売 [ショッピング センター] (統 括)	販売量の動き	・都市圏や県内の新型コロナウイルス感染拡大のニュースが増えるのと比例して、来客数及び買上客数が前月や前年と比べて鈍化し始めている。ボーナス週からクリスマス週末までは高単価品の動きもみられたが、全体的に消費者の購買意欲が低い傾向が続いている。
	▲	観光型旅館 (経 営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大によりGo Toキャンペーンが停止し、年末年始の予約が約4000名、金額で8000万円のキャンセルになっている。
	▲	美容室 (経 営者)	来客数の動き	・街中に例年12月の華やかさが無い。企業における年末年始の挨拶回りに自粛要請が出ているせいか、来客数が減少している。
	▲	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で消費者の動きに勢いがみられない。
	×	商店街 (代 表者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響か、再開発工事が始まった影響かは不明だが、客足が目立って落ちてきている。車の通行量も激減している。最悪である。このままでは再開発が完成するまでに、街が消滅してしまいそうである。
	×	商店街 (代 表者)	来客数の動き	・前半は好調だったが、新型コロナウイルスの感染拡大とともに徐々に失速し、Go To Travelキャンペーンの停止で一気に人通りがなくなっている。
	×	一般小売店 [鮮 魚] (役員)	販売量の動き	・Go Toキャンペーンに振り回されている。11月の3連休はとんでもないGo Toキャンペーン特需だったが、12月に入り新型コロナウイルスの感染者数が増加しキャンペーンの停止が発表されると、一気に観光客が減少している。突然の停止発表だったため、年末年始を見込んだ商品仕入れをどうやって処分していくか頭が痛い。
	×	スーパー (店 長)	単価の動き	・高価値高単価商品の動きが鈍く、質より量の傾向がある。
	×	スーパー (店 舗管理)	来客数の動き	・一般客の消費自体はそこまで落ち込んでいない。野菜の相場が崩れたため単価のダウンが目立つ程度である。しかし、新型コロナウイルス禍により個人飲食店からの注文が70%台後半と激減している。回復のめどが立たない状態である。
	×	衣料品専門店 (店舗運営)	販売量の動き	・例年と比べてクリスマスギフトの需要が少ない。
	×	観光型旅館 (ス タッフ)	来客数の動き	・前年比で総売上は77%、宿泊人数は75%、宿泊単価は111%である。個人旅行の販売シェアが75%で、前年比で個人客売上が108%となっている。個人客は増えているが、15名以上の団体客が40%と低迷しており、売上が大幅に減少している。
	×	旅行代理店 (従 業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの状況悪化によるGo To Travelキャンペーンの一時停止が影響している。1月の予約はほぼキャンセルとなっている。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・12月に入って新型コロナウイルスの感染再拡大を受け、県外からの出張者が激減している。売上も前年比の6割にとどまっている。
	×	テーマパーク (役員)	来客数の動き	・Go To Travelキャンペーンや、新型コロナウイルスの感染が少し落ち着いていたなかで、3か月前より客が戻りつつあったが、今月はGo To Travelキャンペーンの一時停止の発表や全国的な感染拡大の影響もあり、前年同期と比べて客の利用は大幅に減少している。
	×	住宅販売会社 (営業)	来客数の動き	・前年同時期と比べ、客足が2割程度落ちている。
企業 動向 関連	◎	—	—	—
(北陸)	○	食料品製造業 (経営企画)	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルス第3波の感染拡大が止まらない状況下で、年末年始の需要期を迎えている。自宅で過ごす巣籠り需要の対象となる商品の受注が好調で、全体でも前年同月を上回りそうな気配である。
	○	化学工業 (総務 担当)	受注量や販売量 の動き	・販売量が増えてきている。

	○	精密機械器具製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・取引先も今までの閉塞感を何とか打破したいという思いからか、当社への受注が予想以上に増えている状況である。
	□	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・経済活動が少しずつ回復してきているものの、都市部を中心に新型コロナウイルスの感染が再拡大するなど影響はまだ大きく、受注、販売共に厳しい状況が続いている。
	□	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・欧米、国内共に新型コロナウイルスの影響で受注活動が低迷している。生産調整により一時帰休を強いられている。
	□	建設業（経営者）	それ以外	・建設業界では建築関係の需要は落ち込んでいるが、土木工事を主とする公共事業は順調に発注があり、競争は激しいものの受注機会に恵まれている。建設業界以外では、新型コロナウイルス禍で依然として落ち込んでいる業界が多く、全体として景気は変わっていないとみている。
	□	通信業（営業）	受注量や販売量の動き	・上期と比べると良くなっているが、3か月前とさほど変わらないと考える。
	□	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者の話では景気が良いところが少ない。また、法人からの問合せが少なくなっている。
	□	司法書士	取引先の様子	・助成金請求のための議事録や定款、契約書等の作成依頼が続いており、事業継続が大変だという話を聞くことが多い。
	▲	税理士（所長）	取引先の様子	・飲食店、観光業、観光バス事業が大分持ち直しかけたところで現在の新型コロナウイルスの状況である。キャンセルが続き見通しも立たないため、大変な状態になっている。当地は下請の製造業が多く、いろいろな製品で海外輸出が滞っている。人が動かないことから、商品が完成しても輸出して検品や検収ができないのでストックがたまっており、生産が控えられていると聞いているので、状況はまだ厳しいと考える。これまで余り影響がなかった工事業関係でも、段々と厳しさが出てきているようである。
	×	輸送業（役員）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの影響がある。
	×	金融業（融資担当）	取引先の様子	・令和2年9月の決算、中間決算、四半期決算はいずれも前年及び3か月前と比べて悪化している。足元の受注状況、年末年始の業況見込みはほとんどの企業で悪化予想が続く。新型コロナウイルスの状況が再び悪化し、Go To Travelキャンペーンも停止した影響が大きい。
雇用 関連	◎	—	—	—
	○	*	*	*
(北陸)	□	人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・新規の求人数が減少している。
	□	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・担当範囲では微増しているが、良くなっているとは言い難い。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・介護や清掃業関連など一部業種を除き、相変わらず求人広告数は低調で、新規雇用の動きは鈍い。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・人材紹介の問合せもほとんどなく、人材派遣の受注数も前年同月の30%に減少している。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・前年同時期と比べて求人社数が少ない。
	▲	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・毎年年末はアルバイトの募集広告がよく入るのに、今年は増えない。
	▲	新聞社〔求人広告〕（営業）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス第3波の影響で、どの業種も悪い状況である。
	×	—	—	—